

柔道整復スポーツトレーナー学科（昼間部3年制）

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活	健康管理学 Health Care Management	必修	講義	2	30	30						健康づくりや疾病予防の基礎的な知識や考え方を理解し、科学的・論理的思考のもとに各年代層に応じた健康指導の仕方を学ぶ。
		心理学 Clinical Psychology	必修	講義	2	30	30						臨床場面における心理援助の各理論を科学的・論理的思考の元に学ぶ。
		栄養学 Nutrition	必修	講義	2	30		30					栄養についての基礎知識をもとに、科学的・論理的に栄養指導が実践的に行えるように学ぶ
		外国語 foreign language	必修	講義	2	30	30						医学英語を中心に、施術録記載方法を学ぶ。
		体育（柔道） physical education	必修	講義	2	30		30					柔道の基礎的な礼法や形を学ぶ。
		生物学 Biology	必修	講義	2	30	30						生理学の基礎となす生物学の総合的な基礎的知識を学ぶ。
		情報科学 Information Science	必修	講義	4	60	30	30					IT 社会に対応できるように、ワード・エクセル・パワーポイントを中心に学ぶ。
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ Anatomy	必修	講義	6	90	30	30	30				人体の形態と構造を理解する学問で、骨・筋を中心に学ぶ。
		解剖学Ⅱ Anatomy	必修	講義	4	60	30	30					解剖学の総論・脈管系・神経系・体表解剖を学ぶ。
		解剖学Ⅲ Anatomy	必修	講義	2	30			30				内臓系・内分泌系・感覚器系を学ぶ。
		生理学Ⅰ Physiology	必修	講義	4	60	30	30					細胞・組織・器官系等の機能を総合的に学ぶ。
		生理学Ⅱ Physiology	必修	講義	2	30			30				人体の生命維持の基本的機能を学ぶ。
		生理学Ⅲ Physiology	必修	講義	2	30				30			競技者の生理学的特徴として好発する疾病および外傷について学ぶ。高齢者の生理学的特徴として心身の変化や疾病について理解する。
		運動学 Kinesiology	必修	講義	2	30			30				人間の身体運動を科学的・解剖学的に学ぶ。
	疾病と傷病	病理学 Pathology	必修	講義	2	30			30				疾病の形態・機能変化、疾病の鑑別の基本原則を研究する。
		一般臨床医学 General Clinical Medicine	必修	講義	2	30				30			内科疾患を中心に、主要な疾患の機序・特徴・検査法・診断や治療について学ぶ。
		衛生学・公衆衛生学 Public Health	必修	講義	2	30	30						疾病を未然に防ぎ、健康を維持・増進・疫学の考え方、実践活動として学ぶ。
		整形外科学 Orthopedic Surgery	必修	講義	2	30				30			骨・筋・関節・神経・病変について症状・検査方法・診断を学ぶ。
		外科学 Surgery	必修	講義	2	30					30		外科疾患を中心に、主要な疾患の診断や治療について学ぶ。
		リハビリテーション医学 Rehabilitation	必修	講義	2	30					30		症状の悪化や障害の予後に対して、機能回復・社会復帰に向けての技術を学ぶ。
	柔道整復術の適応	救急医学 Emergency medicine	必修	講義	2	30				30			臨床（救急）現場において、柔道整復施術の適応疾患の臨床的判断を的確にするための知識と方法について学ぶ。
	保健医療の福祉と柔	医学史 Medical History	必修	講義	2	30						30	東洋・西洋医学の歴史、変遷、先人の業績などについて学ぶ。
		関係法規 Related Laws and Regulations	必修	講義	2	30					30		柔道整復師法を中心に医療関係法規を学ぶ。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門基礎分野	保健医療福祉と柔道整復の理念	柔 道 I Judo I	必修	実技	4	60			30	30			日本古来の武術である「柔道」を通じ、基本的・応用的な礼儀作法・技を学ぶ。
		柔 道 II Judo II	必修	実技	2	30					30		投げの形（手技・腰技・足技）を習得する。
		職業倫理 Professional ethics	必修	講義	1	15			15				一般的な職業倫理を理解し柔道整復師に必要な職業倫理を学ぶ。
	社会保険制	社会保障制度 Social security system	必修	講義	1	15					15		関係法令や通知等の基礎的知識を基に健康保険の仕組みや請求方法などについて学ぶ。
専門分野	基礎柔道整復学	柔道整復学・総論Ⅰ Judo Reduction	必修	講義	4	60	30	30					柔道整復師の沿革を知り、「柔道整復学とは何か？」から入り、総論を中心に総合的に学習し、骨・関節・筋・靱帯等の損傷の基礎を学ぶ。
		柔道整復学・総論Ⅱ Judo Reduction	必修	講義	2	30					30		柔道整復学を学ぶうえで、診察法・評価・指導管理等の総論を学ぶ。
		柔道整復学・各論Ⅰ Judo Reduction	必修	講義	6	90		30	30	30			上肢の骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷による軟部組織損傷について学ぶ。
		柔道整復学・各論Ⅱ Judo Reduction	必修	講義	6	90		30	30	30			下肢の骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷による軟部組織損傷について学ぶ。
		柔道整復学・各論Ⅲ Judo Reduction	必修	講義	2	30					30		体幹の骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷による軟部組織損傷について学ぶ。
		外傷の保存療法 trauma conservative therapy	必修	講義	1	15			15				様々な損傷に対する自己修復機能から具体的な外傷に対する保存治療方法について経過及び治癒の判定を含めて学ぶ。
		柔道整復学基礎Ⅰ Judo Reduction	必修	講義	2	30	30						柔道整復学を総合的に学ぶ。
		柔道整復学基礎Ⅱ Judo Reduction	必修	講義	2	30			30				柔道整復学を総合的に学ぶ。
	臨床柔道整復学	臨床柔道整復学・各論Ⅰ Clinical Judo ReductionⅠ	必修	講義	4	60		30	30				上肢の骨折、脱臼の整復法・固定法を学ぶ。
		臨床柔道整復学・各論Ⅱ Clinical Judo ReductionⅡ	必修	講義	4	60			30	30			下肢・体幹の骨折、脱臼の整復法・固定法を学ぶ。
		臨床柔道整復学・各論Ⅲ Clinical Judo ReductionⅢ	必修	講義	4	60				30	30		上・下肢の軟部損傷について学ぶ。
		柔道整復演習Ⅰ Clinical Judo ReductionⅠ	必修	講義	6	90				30	30	30	柔道整復学・総論から各論について反復して学ぶ。
		柔道整復演習Ⅱ Clinical Judo ReductionⅡ	必修	講義	6	90					30	60	柔道整復学・総論から各論について反復して学ぶ。
		柔道整復演習Ⅲ Clinical Judo ReductionⅢ	必修	講義	8	120					60	60	柔道整復学・各論について反復して学ぶ。
		柔道整復演習Ⅳ Clinical Judo ReductionⅣ	必修	演習	10	150	30	30	30	30	30		自己テーマを設定し、研究・実習・評価しまとめ、卒後の業務の遂行や研究に役立てる。
		物理療法 physical therapy	必修	講義	1	15		15					各物理療法の基礎・原理原則や使用法を学ぶ。
		柔道整復術適応の臨床的判定 Judo Reduction	必修	講義	2	30			30				主要な画像診断法の基本原理から骨・関節疾患の基本的画像および読影法について学び、臨床所見から判断して柔整施術に適する損傷かを判断できる能力を身につける。
		臨床柔道整復学・演習 Clinical Judo Reduction	必修	講義	2	30						30	卒業判定試験を実施し、学力向上に努める。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 分 野	柔 道 整 復 実 技	包帯固定法 How to Fix a Bandage	必修	実技	2	60	30	30					包帯の巻き方を身に付け、基本から応用まで正しく学 ぶ。
		柔整実践実技 Judo therapy practical	必修	実技	1	30			30				整復・固定法の実践を学ぶ。
		柔整演習 Judo Reduction (高齢者及び競技者の外傷予防)	必修	実技	2	30			30				スポーツ競技者から高齢者まで幅広い対象者に対する、 外傷予防法、コンディショニングの方法を学ぶ。
		柔整基礎実技Ⅰ Judo Reduction Basic Practical SkillsⅠ	必修	実技	2	60	30	30					上肢の骨折・脱臼に対する、柔道整復術の実技を学ぶ。
		柔整基礎実技Ⅱ Judo Reduction Basic Practical SkillsⅡ	必修	実技	1	30			30				下肢の骨折・脱臼に対する、柔道整復術の実技を学ぶ。
		柔整基礎実技Ⅲ Judo Reduction Basic Practical SkillsⅢ	必修	実技	1	30				30			体幹の骨折・脱臼に対する、柔道整復術の実技を学ぶ。
		柔整基礎実技Ⅳ Judo Reduction Basic Practical SkillsⅣ	必修	実技	3	90				60	30		臨床における打撲・捻挫・挫傷に対する、柔道整復術の 実技を学ぶ。
		柔整応用実技Ⅰ Judo Reduction Practical SkillsⅠ	必修	実技	1	30	30						臨床実習をおこなうにあたって、患者の対応、医療面 接、基礎的施術、検査を学び、臨床実施実習前施術試験 を行う。
		柔整応用実技Ⅱ Judo Reduction Practical SkillsⅡ	必修	実技	1	30		30					四肢測定・評価・検査法を具体的に実践し、技術を身に つけるために基礎実技を学ぶ。
専 門 分 野	柔 道 整 復 実 技	柔整臨床実技Ⅰ Judo ReductionⅠ	必修	実技	2	60					30	30	柔道整復学の集大成として、整復法・固定法・検査法を 具体的に実践し、技術を身につけるために実践的に学 ぶ。
		柔整臨床実技Ⅱ Judo ReductionⅡ	必修	実技	1	30						30	柔道整復師の集大成として、柔道について具体的に実践 的に学ぶ。
		柔整臨床実技Ⅲ Judo ReductionⅢ	必修	実技	1	30						30	柔道整復学の集大成として、整復法・固定法・検査法の 実技を学ぶ。
		柔道整復特論 Judo therapy Advanced lecture (海外研修)	必修	実習	1	30				30			海外の医療環境や状況通じて、国際的に活躍できるよう 幅広い視点で医学を学ぶ。
	臨 床 実 習	臨床実習Ⅰ Clinical Judo Reducution PracticeⅠ	必修	実習	2	90	90						柔道整復師としての臨床における実践的能力及び保険の 仕組みに関する知識を習得し、患者との適切な対応、施 術者としての責任と自覚を学ぶ。
		臨床実習Ⅱ Clinical Judo Reducution PracticeⅡ	必修	実習	1	45			45				柔道整復師としての臨床における実践的能力及び保険の 仕組みに関する知識を習得し、患者との適切な対応、施 術者としての責任と自覚を学ぶ。
		臨床実習Ⅲ Clinical Judo Reducution PracticeⅢ	必修	実習	1	45			45				柔道整復師としての臨床における実践的能力及び保険の 仕組みに関する知識を習得し、患者との適切な対応、施 術者としての責任と自覚を学ぶ。
柔整総単位/ 柔整総時間数					159	2760	540	435	600	450	435	300	
そ の 他 分 野 ・ 指 定 外 科 目	ス ポ ー ツ ト レ ー ナ ー 分 野	スポーツ総論 Sports Nutrition	必修	講義	2	60		30	30				幅広い対象者に対するスポーツ指導する上で必要な資質 や適性を向上するために必要な知識と幅広い要素を学 ぶ。
		スポーツ特論 Psychology for Athlete	必修	講義	1	30				30			スポーツ現場における人間力の基礎からコーチングに関 する内容とスポーツ社会学まで幅広く学ぶ。
		健康エクササイズⅠ Health exerciseⅠ	必修	講義 実技	2	60	30	30					健康づくりのための運動指導方法について、基礎的な運 動から有酸素系運動まで、それぞれの運動特性をふま え、指導法も含めて学ぶ。
		健康エクササイズⅡ Health exerciseⅡ	必修	講義 実技	1	30			30				健康づくりのための運動指導方法について、「健康エク ササイズⅠ」を活かし、様々な有酸素系運動における運 動特性をふまえ指導法を学ぶ。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		3 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
その他分野・指定外科目	スポーツトレーナー分野	トレーニングⅠ Strength Training and ReconditioningⅠ	必修	講義	1	30		30					健康づくりを実践指導していく上で、必要なトレーニングや健康づくりに関する知識や方法について学ぶ。
		トレーニングⅡ Strength Training and ReconditioningⅡ	必修	講義 実技	1	30					30		トレーニングを実践指導していく上で、必要な各種トレーニング法の習得と指導法を学ぶ。
		テーピング Workshop Course of Taping	必修	実技	2	60	30	30					様々な障害の発生要因から目的に合ったテーピングの方法を機能解剖の視点から方法について学ぶ。
		運動生理学 Exercise Physiology	必修	講義	1	30	30						運動をすることによって起こる体の変化や適応状態についての基礎的な知識を学ぶ。
		救急処置法 First Aid and Emergency Care By JRCs (日赤救急法)	必修	講義 実習	1	30	30						救急時に必要な救急処置を冷静沈着に行えるよう、正しい知識と技術を習得する。
		健康運動実践講座 practical Health Fitness	必修	講義 実習	1	30				30			「健康運動実践指導者」検定試験の対策講座。(実技・筆記対策)
		JATI講座 JATI special lecture	必修	講義 実習	1	30					30		「JATI-トレーニング指導者」検定試験の対策講座。(筆記対策)
		臨床実習Ⅳ Clinical Judo Reducution PracticeⅣ	選択	実習	1	45	45						アスリートやスポーツ愛好家などに対するサポート方法をスポーツ現場にて学ぶ。
		臨床実習Ⅴ Clinical Judo Reducution PracticeⅤ	選択	実習	2	90			45		45		アスリートやスポーツ愛好家などに対するサポート方法をスポーツ現場にて学ぶ。
	柔道整復分野	基礎対策講座 Prep-class for beginners	必修	講義	2	40		20		20			夏・春の集中講座にて復習する。
		国家試験対策講座Ⅰ Exercises in the State ExaminationⅠ	必修	講義	2	60				30	30		国家試験に向けての傾向や対策を学ぶ。
		国家試験対策講座Ⅱ Exercises in the State ExaminationⅡ	必修	講義	2	60					60		国家試験に向けての傾向や対策を学ぶ。
		国家試験対策講座Ⅲ Exercises in the State ExaminationⅢ	必修	講義	3	90						90	国家試験に向けての傾向や対策を学ぶ。
		国家試験対策講座Ⅳ Exercises in the State ExaminationⅣ	必修	講義	4	120						120	国家試験に向けての傾向や対策を集中して学ぶ。
		国家試験対策講座Ⅴ Exercises in the State ExaminationⅤ	必修	講義	4	120						120	国家試験に向けての傾向や対策を集中して学ぶ。
柔整総単位/ 柔整総時間数					193	3805	705	575	705	560	630	630	